

# 「新 学校版環境ISO」について

## 1. 「新 学校版環境ISO」の取組内容

次の、①必須項目と、②選択項目の（a）～（d）から1つ以上を選択とすることで、地域や学校の状況に応じた取組を推進する。

### ① 必須項目

学校（校内）における節電・ごみ分別・リサイクル活動  
 （現在、定着しつつあるこの3項目については、すべての学校で実施し、活動の基盤的な位置づけとする。）

### ② 選択項目・・・（a）～（d）から1つ以上を選択する。

（a）地域（家庭を含む）に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動

例 児童生徒の家庭における節電・節水  
 学校と保護者が協力してリサイクル活動を実施

（b）地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動

例 地域の海岸の松林の保護・清掃活動  
 地域独自の希少動植物の保護活動（イシマササユリなど）  
 校外において実施する清掃活動

（c）地域に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動

例 校内において緑のカーテンの取組  
 （県の施策：都市部の緑化推進をテーマに）  
 地域にある河川の水質検査を通じた学習の実施  
 太陽光発電について体験し、エネルギーの地産地消を学ぶ  
 地域の水辺の環境を校内にビオトープを作り再現し観察  
 地域で取り組んでいる生活排水の浄化を学校でも実施

（d）上記項目以外で、運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動

例 企業との連携による環境教育の取組  
 ユネスコス쿨の取組

## 2. 新旧対照表

	新	旧
取組内容	①必須項目 節電・ごみ分別・リサイクル ②選択項目（1つ以上を選択） （a）地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル （b）地域に出向き深める環境保全・環境美化 （c）地域に関係したテーマを選び深める環境学習 （d）上記項目以外で、運営委員会 がふさわしいと認めたテーマ による活動	①取組は、3項目以上 ②節電・節ガス・節水を含む ③環境学習を含む （4項目程度の取組が一般）
理念	①地域への活動の拡大 ②国際規格ISO14000シリーズ ③PDCAサイクル ④見える化	①国際規格ISO14000シリーズ ②PDCAサイクル ③見える化
認証手続	①計画書申請 ②学校による内部評価（2回） ③新規申請校は訪問審査を実施 ④運営委員会で審査・認証	①計画書申請 ②学校による内部評価（2回） ③新規申請校は訪問審査を実施 ④運営委員会で審査・認証